

# 鹿児島県漁海況週報

令和2年9月10日発行(9月3日～9月9日)  
第2869報【旧暦：7月16日～7月22日/月齢：15.0～21.0/潮汐：大潮～小潮】



鹿児島県水産技術開発センター  
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号  
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218

## 【海況】

### ○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

黒潮北縁域は、9月9日現在、屋久島御崎の北2.7マイル付近にあり、接岸している。

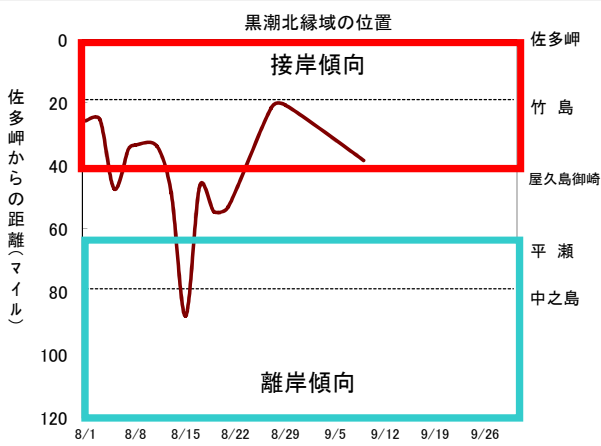
### ○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、9月8日現在、96マイル付近にある。

### ○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、全ての海域で0.4～3.2℃降温した。

平年比較では、笠利崎、与路島で“平年並”、鹿児島、佐多岬で“かなり低め”、竹島、中之島で“著しく低め”、その他の海域で“やや低め”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	28.3	-1.4	-0.7	やや低め
鹿児島	26.3	-2.7	-1.4	かなり低め
佐多岬	26.6	-2.1	-1.2	かなり低め
竹島	26.3	-2.7	-1.8	著しく低め
屋久島御崎	27.9	-0.4	-0.5	やや低め
中之島	26.9	-2.0	-1.6	著しく低め
笠利崎	28.2	-1.4	-0.1	平年並
与路島	28.2	-1.5	-0.1	平年並
与論	-	-	-	-
甕海峡	26.9	-3.2	-0.7	やや低め

鹿児島～那覇定期客船観測は9/9-10  
串木野～甕定期客船観測は9/9

## 【漁況】

台風の影響で全般に低調な漁模様。

### ○定置網

西薩南部海域では、1日のみゴマサハ(200g)が1.5トン、ハカツオ(2kg)が200kgの入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、1日のみクロホシエダイ(700g)が180kg、ゴマサハ(300g)が150kg、カンパチ(1kg)が120kg、スマ(2kg)が100kg、クロダイ(400～500g)が50kgの入網。大隅半島東部海域では、週計で17統がニサダイ、ハマエフキ、ヘダイ主体に35トンの入網。

### ○トビウオロープ曳網

屋久島海域では、中ヒを44～90箱/統・日、セトヒを11～23箱/統・日の漁。

### ○イセエビ刺網

西薩海域では、0.1～1kgサイズを3～20kg/隻・日の漁。志布志湾海域では、0.7～1kgサイズを2～40kg/隻・日の漁。

### ○その他

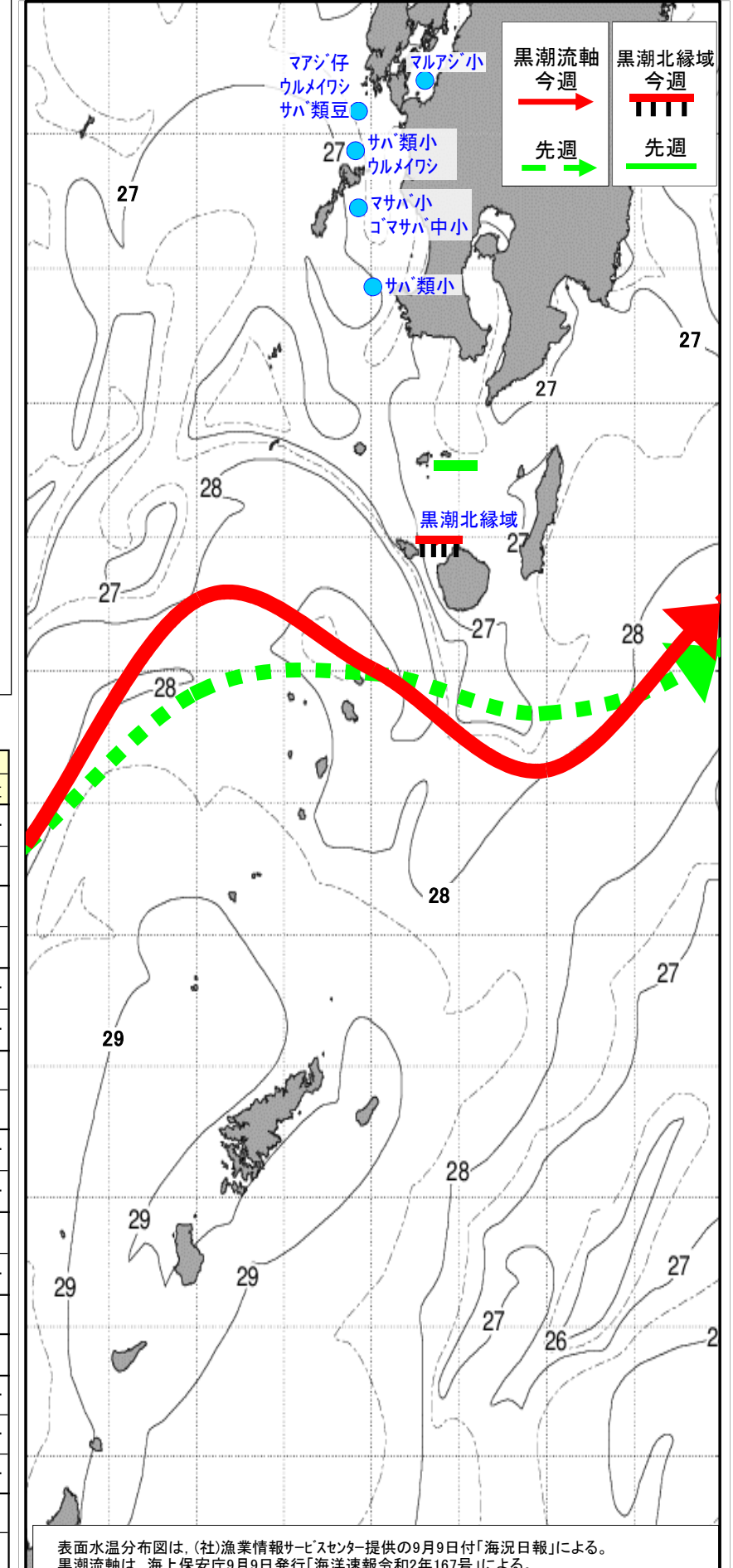
西薩南部海域では、底曳網で1日のみヒゲナガエビを25kg/隻の漁。かかり網で1日のみアサヒガニ(300g)を70ハイ/隻の漁。一本釣りで1日のみイサキ(200～300g)を12～13kg/隻、アカハタ(200～500g)を7～10kg/隻の漁。

(旋網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記の表に記載しています。)

### 業種別・漁港別水揚げ状況

※前年同期(第2817報)

漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日1統	前週		前年同期	
							隻数	漁獲量	隻数	漁獲量
旋網	阿久根	大	1	9	マアジ仔61 ウルメイワシ26 サハ類豆6	8.7	6	183	0	-
		中	3	32	縄瀬長島野間池沖	10.5	12	82	10	97
	枕崎	大	0	-		-	1	17	9	484
		中	1	32	甕東	32.0	2	4	24	630
	内之浦	中	0	-		-	0	-	0	-
	山川	中	0	-		-	0	-	0	-
計	大	1	9		8.7	7	200	9	484	
	中	4	64		15.9	14	86	34	727	
東海旋網	阿久根	0	-		-	0	-	0	-	
	枕崎	0	-		-	0	-	0	-	
棒受網	阿久根	13	22	阿久根沖 長島	ウルメイワシ72 カクチイワシ22	1.7	61	127	71	96
	内之浦	0	-		-	0	-	0	-	
定置網	内之浦	17	35		ニサダイ39 ハマエフキ15 ヘダイ9	2.0	33	20	28	20
刺網	阿久根	5	0.3	甕	キヒナコ100	0.1	19	3	53	6
カツオ竿釣	枕崎	大	0	-		-	0	-	0	-
		小	0	-		-	0	-	0	-
	海旋	中	0	-		-	0	-	0	-
		大	0	-		-	0	-	0	-
海外旋網	山川	中	0	-		-	2	8	2	11
		海旋	0	-		-	0	-	1	744



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の9月9日付「海況日報」による。  
黒潮流軸は、海上保安庁9月9日発行「海洋速報令和2年167号」による。